

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

No. 6

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	オクイ トシユキ			
氏名	奥井 利幸			
派遣希望区	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> () 区			
支援専門分野（注1）		支援専門分野の内容		
ルール又はプランづくり等	地域まちづくりプラン 地域まちづくりルール 地区計画 建築協定 景観計画 景観協定 まち普請事業 その他地域のまちづくりに関する計画			
市街地開発事業等	土地区画整理事業 市街地再開発事業			
防災まちづくり等	<input type="radio"/> 横浜市の制度を活用した地震火災対策 密集市街地の改善 防災・減災の指導			
その他得意とする分野（複数選択可）	地域福祉 （高齢者・障がい者・子育て支援等） 防犯 水・緑・環境 歴史・文化・アート 空き家・空き地の利活用 商店街活性化 狭あい道路整備 耐震改修 共同建替 コミュニティの再生 地域の活動拠点運営 地域交通サポート事業 ICT・WEBの活用 その他 （多文化共生 外国人との共生）			
支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 （200文字以内かつ9行以内）
	高齢者／障がい者との共生まちづくり	海外（アジア太平洋地域）	2002年ー現在	障害当事者の主体的参加（エンパワメント）とコミュニティの活性化により、単なる「物理的なバリアフリー化」だけでなく、社会参加のさまざまなバリアの軽減された街づくりの支援をライフワークとして実施。また、日本の地域コミュニティと海外の地域コミュニティの学びあいの実施。
コミュニティスペース企画運営	横浜市西区	2019年ー現在	横浜市西区において、多文化共生・多世代共生のコミュニティスペース野毛山ハウスを運営。コミュニティの外と中をつなげ、学びあいによる活性化を実施。	

（注意）支援専門分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等及びまちづくり支援団体の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	海外と日本の地域コミュニティの学びあい	横浜市とタイやミャンマー、南米などの地域コミュニティ	2017年ー現在	日本の地域で民生委員、見守り活動実施ボランティア、コミュニティ食堂運営ボランティアなどと海外で同様の活動をするボランティアとの学びあいによる双方の地域活性化を実施。 2020年以降は zoom 活用による相互訪問の実施。
	学生による地域コミュニティ調査	横浜市西区	2019年ー現在	まちづくりを学ぶ／興味のある学生による地域コミュニティ調査や提言、学びあいによる地域の活性化活動の実施調整。
	地域コミュニティ活動の実践	横浜市西区	2017年ー現在	地区社協理事、町内会役員、まちづくり協議会委員、防犯パトロール委員などの実践。
	団地再生コーディネーター	すすきの団地	2021年	すすきの団地における団地再生のためのワークショップ／発表会の実施支援。

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）
 国際協力事業団（JICA）専門家として、タイ・ミャンマーなどアジアの途上国で長くコミュニティ作り、社会的弱者支援を行ってきました。2016年に日本に帰国したあと、独立してソーシャルビジネスコンサルタントや評価コンサルタントを行いながら、西区でコミュニティスペース運営や、地域での活動の実践を行っています。
 日本でコミュニティづくりをはじめようと思ったきっかけは、
「海外のコミュニティ作りと日本のコミュニティ作りが、案外共通点が多いのではないか」
 と思ったことですが、実際に日本で活動を開始して、当初考えた以上に似ていると感じています。
 一方で、日本では途上国よりもコミュニティで使えるリソースは圧倒的に多いのですが、逆にそれがゆえにリソース頼みとなる可能性もあると感じています。社会資源に限りがある途上国の経験は日本のまちづくりでも活かせるのではないかと感じています。
 日本のコミュニティを学びながら街づくりをしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

必要に応じて資料を A4 判 1 ページまで添付できます。